

各 位

立教大学入学センター

問題の訂正について
(2025 年度 D 世界史)

2025 年度 D 世界史について、下記の通り訂正いたします。

記

<訂正箇所・内容>

5 ページ 上から 2 行目

誤 : 「下記の説問 A・B に答えよ。」

正 : 「下記の設問 A・B に答えよ。」

<備考>

上記の訂正内容は、試験終了後に発覚しました。このことによる解答への影響はないものと判断し、採点において特別な措置は講じません。

以上

2025年度

D 世界史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のように黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

人類は様々な物質を生活用材として利用してきた。金属もその一部である。メソポタミア文明では約7000年前から銅器、ついで4500年前から青銅器が¹⁾つくられるようになった。前2000年ごろメソポタミア北部に都市国家を築いたアッシリア人は、青銅の原料のひとつであるイラン高原の錫の交易で栄えた。前17世紀ごろアナトリアに建国したヒッタイト人は製鉄技術を発展させ、鉄製の武器や戦車を用いて勢力を拡大し、前13世紀には²⁾シリアに進出してエジプト新王国の王（イ）と戦い、世界最古の国際条約を結んでいる。鉄器文化はやがてメソポタミア全域に広まり、さらにスキタイによって東方へ伝えられた。

一方アッシリアは、前15世紀に（ロ）王国に³⁾従属したが、後には鉄製の武器・戦車を用いて前7世紀ごろにオリエントを統一した。アッシリア崩壊後に分立した4王国のひとつである（ハ）では、はじめて金と銀の合金による打刻貨幣が⁴⁾つくられた。

金・銀は加工が容易で保存性が良く、希少価値もあるので、古くから貨幣の素材として重宝されてきた。古代ローマの金貨についてみると、紀元後2世紀のものがメコン川下流域の扶南の港である（ニ）で出土するなど、国際通貨として流通していたことがわかる。また、4世紀に発行されたソリドゥス金貨は国際基軸通貨となり、ビザンツ帝国でも⁴⁾継承された。

中世以降のヨーロッパでは、銀山を所有するアウクスブルクの豪商フッガー家が富をたくわえて、神聖ローマ皇帝の地位をも左右するほどの⁵⁾影響力を持っていた。しかし16世紀以降、アメリカ大陸の銀が大量に流入するようになると、ヨーロッパ経済の状況は⁶⁾変わっていった。

鉄製農具の発達もまた、社会に大きな影響を与えた。例えば中世ヨーロッパでは、牛馬にひかせて土地を耕す、2枚の鉄製の刃を組み合わせた農具（ホ）が普及したことで、重い粘土質の土壌を深く耕すことが可能となり、農法の発達ともあいまって農業生産力が向上した。古代中国では春秋・戦国時代から鉄製農具の普及が見られるが、⁷⁾ここでも社会への大きな影響が⁸⁾確認できる。

18世紀前半イギリスでは、石炭を加工した（ヘ）を燃料に用いた製鉄法がダービーによって開発され、鉄製の機械が普及したことで工業が飛躍的に発展していく。蒸気機関は製鉄用の送風にも用いられたが、1825年に蒸気機関車が実用化されると、工業原料や製品を運搬する手段としての鉄道が発達した。⁹⁾1830年に開通したリヴァプール・マンチェスター間の鉄道は、最初の本格的な営業路線とされている。

産業革命をとおして近代社会の最重要物資となった鉄はまた、軍事力の象徴ともなるも

のであった。19世紀後半、プロイセンは鉄血政策を推し進めて数々の戦争に勝利したが、プロイセン＝フランス戦争での勝利を支えたのは、製鉄業者グループが提供する鑄鋼砲と¹⁰⁾鉄道車輪であった。1890年代に同社が開発した鋼板は世界の主要海軍国の戦艦に採用され、列国間の軍備拡張競争に拍車をかけることになった。

11)

A. 文中の空所(イ)～(ヘ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. 古代から近現代に至るまで、物質とその性質の研究がなされてきた。これに関する次の問 i・ii に答えよ。
 - i. 万物の根源は水であると唱えた、イオニアの自然哲学者は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
 - a. アルキメデス b. エラトステネス c. タレス d. デモクリトス
 - ii. 18世紀に物質の燃焼を酸素との結合現象として説明した、フランスの化学者の名をしるせ。
2. この民族の言語はどの系統に属するか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
 - a. アルタイ語系 b. インド＝ヨーロッパ語系
 - c. ウラル語系 d. セム語系
3. この集団に関する記述として正しくないものを次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
 - a. アケメネス朝ペルシアの侵攻を受けたが、征服されなかった
 - b. スキタイ文化は西アジアを起源とし、徐々に南シベリア方面にも伝播した
 - c. 前6世紀ごろまでには、黒海北岸に史上初の遊牧国家を建設した
 - d. 動物文様をともなった武具や馬具、黄金装飾などに特徴がある
4. 地中海の国際交易の安定をはかってこの金貨の発行を開始したローマ皇帝の名をしるせ。
5. 1555年、この地の和議でルター派と神聖ローマ皇帝が妥協にいたった。ルターを支持する諸侯や都市が皇帝に対抗するために1530年に結成した同盟の名をしるせ。
6. スペインの征服先である中南米で銀山の発見があいついだが、なかでも現ボリビアで1545年に発見され、南米最大といわれた銀山の名をしるせ。
7. この結果、余剰生産物の取引により商業・交易の発展が促され、北海・バルト海交

易圏ではハンザ（ハンザ同盟）が繁栄した。その四大在外商館のひとつが置かれた現ロシアの都市の名をしるせ。

8. 鉄製農具の普及に関してこの時代の中国で起こった出来事でないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべてあてはまる場合は、e をマークせよ。
- a. 家族単位での農業経営が可能となり、小家族が生産・課税・徴兵の単位となった
 - b. 森林伐採が効率化したことで森林面積が激減し、華北の気候は乾燥化に向かった
 - c. 鉄製農具の規格統一や鉄の専売といった政策が国家によってとられた
 - d. 鉄製農具は牛耕農法とともに前 4 世紀ごろには華北一帯に普及した
9. この前後の時期、イギリスは自由主義改革を進めて経済的にも繁栄した。この点に関する以下の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 穀物法の廃止
 - b. 審査法の廃止
 - c. 第 1 回選挙法改正
 - d. ロンドン万国博覧会の開催
10. この戦争で敗れたフランスでは帝政が崩壊し、ブルジョワ共和派による臨時政府が樹立された。1871年にこの政府の首班となった人物の名をしるせ。
11. これに対して、第一次大戦後には1921年から開催のワシントン会議などを通して、一時的に海軍軍縮のムードが高まった。東アジア・太平洋方面における国際秩序検討のためにこの会議の開催を呼びかけた、アメリカ合衆国大統領の名をしるせ。

Ⅱ．歴史（アジア史，ヨーロッパ史，日本史，イスラーム史）を専攻する学生たちの会話文を読み，下記の説問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

- ①：ユーラシアの東西では龍とヘビが同一視されることがよくあって，古代インド¹⁾ではナーガージャと呼ばれる龍神が見られるんだ。
- ②：龍王と呼ばれる神々ですね。ナーガとはヘビのことですか？
- ③：インドではヘビの精霊や蛇神がナーガと呼ばれるよね。それが仏教²⁾にも取り入れられたんだね。
- ④：そういえば，インド起源で日本に伝わった弁才天の頭上にも蛇の姿をした宇賀神がいます。ナーガと関連があるとも言われていますね。一説では穀物の神³⁾であるウカノミタマが宇賀神になったと言われていますが。
- ⑤：ヘビは穀物にとっての害獣や害虫を食べるので穀物神になると言われるけど，その一方で水神とされることもあるよね。
- ⑥：日本ではヤマタノオロチという蛇神が氾濫した川⁴⁾を表したものだとも言われていて，映画『千と千尋の神隠し』でも河の神が龍の姿で登場します。
- ⑦：中国⁵⁾でも古代神話のなかに伏羲と女媧という蛇身または龍身の神が出てくるよ。一説では大洪水を生き延びた彼らが人類の始祖となったとも。黄帝という伝説の君主も龍の姿をした雷神だったとも言われる。
- ⑧：西洋のドラゴンはどうなのかなあ？蛇よりもトカゲに近いイメージがあるけど。
- ⑨：ドラゴンの語源とされるギリシア語⁶⁾のドラコーンはもともと「大蛇」を意味するから，ドラゴンも蛇と深い関係にあるみたいですね。現存するプリニウスの著作で，自然に関する知識の集成『（イ）』や，ヘロドトスの『歴史』⁷⁾はドラコーンを蛇として描いています。
- ⑩：日本のヤマタノオロチはスサノオに退治されますが，西洋でもドラゴンが退治される話がありますよね？
- ⑪：そうです。『新約聖書』では悪魔と呼ばれる赤い巨龍が大天使ミカエルに退治されています。聖者ゲオルギウス（ジョージ）が龍を退治する話も有名ですよ。
- ⑫：ヨーロッパで龍が異教や悪の象徴とされるのはアジアとは異なるんじゃない？
- ⑬：でも，仏教やそれ以前のインドでも龍には善も悪もいるとされているよ。『法華経』⁸⁾では獣や悪の象徴とされる龍女でさえ成仏できると説いているし。

- ㉔：『平家物語』では壇ノ浦で命を絶った平家一門が龍に転生してその救済を願う場面があるのですが、それも『法華経』の影響だと思われます。
- ㉕：ヨーロッパでも龍が高貴な存在として転換する事例があるんです。14世紀から15世紀にかけて描かれた宗教画では、聖母や聖者、大天使など高貴な人物と一緒に金糸織りの織物が出てきますが、その文様に龍や鳳凰があるんです。アジアからの影響ではないかと言われています。
- ㉖：そうか。その時代はモンゴル帝国があって東西ユーラシアの交通が盛んだったんだね。
- ㉗：はい。そして、オスマン帝国が覇権を握る15世紀後半から16世紀にかけて、それらの龍や鳳凰の文様はヨーロッパの絵画から姿を消すんです。
- ㉘：なるほど。オスマン帝国の登場によってデザインの傾向が一変したってことだよな。
- ㉙：イランの建国神話で「王の書」を意味する『（ロ）』には英雄が龍を退治する話が出てくるし、蛇王とも龍王とも呼ばれるザーハック王も登場するよ。しかも、13世紀になると、モンゴルのイル=ハン国の夏離宮であるタフテ=スレイマーンで中国的な龍や鳳凰のタイルが使用されるようになったんだ。この龍と鳳凰は王や皇帝の象徴だと言われてるよ。

A. 文中の(イ)・(ロ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. この地域に興ったクシャーナ朝で2世紀にカニシカ王が都とした都市の名をしるせ。
2. この宗教に関して2～3世紀頃に大乘仏教の教理を体系化した竜樹とも呼ばれる人物は誰か。その名をしるせ。
3. 古代の穀物生産に関する説明として正しいものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、eをマークせよ。
 - a. インドのガンジス川流域や南インド沿岸部の多湿地帯は、米を主要穀物とする肥沃な穀倉地帯となった
 - b. 紀元前から東南アジア大陸部の主なデルタ地帯は全域が肥沃な穀倉地帯であった
 - c. 地中海沿岸では、灌漑農法による麦の生産が盛んにおこなわれた
 - d. 中国の長江流域では、降水量が少なく乾燥しているため、あわ、きび、麦などの畑作農耕がおこなわれた
 - e. (空欄)

4. 川とその流域に位置する国家の組み合わせとして正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべて正しい場合は、e をマークせよ。
- a. インダス川 — ヴィジャヤナガル王国
 - b. エーヤーワディー川 — パガン朝
 - c. ティグリス川 — アッパース朝
 - d. ナイル川 — クシュ王国
5. この地域に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 漢朝では武帝が董仲舒を信任して五経博士を置いたが、五経に該当しないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべてあてはまる場合は、e をマークせよ。
- a. 『易経』
 - b. 『詩経』
 - c. 『礼記』
 - d. 『論語』
- ii. 宋朝の成立以前に中国南部の浙江地方にあって、いわゆる五代十国の王朝のひとつとして日本をはじめ東アジア各地に文化的影響を及ぼした国はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。あてはまるものがない場合は、e をマークせよ。
- a. 呉越
 - b. 前蜀
 - c. 楚
 - d. 閩
6. この言語に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. この言語で神々の系譜をうたった『神統記』の作者は誰か。その名をしるせ。
- ii. この言語はヘレニズム時代に共通語として東地中海地域で普及した。その共通語は何とよばれるか、カタカナでしるせ。
7. この人物とほぼ同じ時代のトゥキュディデスが『歴史』で主題とした戦争は何か。その名をしるせ。
8. この経典をはじめとして、4～5 世紀の中国では多くの仏典が漢語に訳されたり、民衆への布教が進められたりした。その担い手としてあてはまらないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべてあてはまる場合は、e をマークせよ。
- a. 鳩摩羅什
 - b. 玄奘
 - c. 仏図澄
 - d. 法顕
9. この世紀に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. この世紀の出来事としてあてはまらないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。すべてあてはまる場合は、e をマークせよ。
- a. イブン=バットゥータがユーラシアとインド洋世界を旅した
 - b. 中国沿海や朝鮮半島沿海で倭寇が略奪をおこなった

